

## 県立病院事業評価委員会からの評価・提言事項

平成26年10月9日  
県立病院事業評価委員会

### ◎ 総括的評価

平成25年度に1億2千万円のプラスになったのは特記すべき事項である。計画の最終年度において、黒字化できたのは様々な対策が実を結んだ結果だと思ふ。

経営的な数字の改善が進んでいる一方で、課題も明らかになってきている。一つ一つ解決する努力が今後も必要である。

### ◎ 個別の提言等

○ 経営計画（案）の大きなポイントは、県立病院の役割と機能だと感じる。役割と機能を明確に打ち出すことで、今後の問題点も明確になってくる。

○ 宮崎病院の病床利用率が低いが、利用率を上げる対策はあるのか。病床数を減らす必要性はないのか。

（※病床数については、宮崎病院再整備の中で現在議論している旨、事務局で回答。）

○ 延岡病院の病床利用率が80%を超えているが、救急患者の受入れを考えると病床数は少し余裕があったほうがよい。

○ 県立病院の役割を果たすためには、看護師数は7対1基準は最低の数であり、7対1より多く確保しないといけない。人件費比率を考慮しながら検討してもらいたい。